



白根第一中学校 CS通信

令和7年 3月3日 発行：白根第一中学校CS事務

2/20（木） 第4回学校運営協議会を開催しました

今年度最後となる学校運営協議会は、令和6年度の学校評価の報告、学校予算と施設修繕、部活動地域展開の進捗状況について報告しました。その後、令和7年度の学校教育ビジョンの説明、「保護者・地域とともにある学校」としての取組みを検討、協議し、次年度の方向性を見出しました。生徒会新三役からは「目指す学校づくりを推進する生徒会活動」の発表があり、質問や助言に堂々と答える生徒の姿がたくましく、今年度をしめくくる、よい会議となりました。

<第4回内容>

- 1 令和6年度教育活動について
 - ①年度末学校評価
 - ②学校財務・施設修繕
 - ③部活動地域展開
- 2 令和7年度教育活動について
 - ①学校教育ビジョン
 - ②保護者と地域とともにある学校
 - ③生徒会活動方針



【令和7年度 学校教育ビジョン】

自己実現に向けて挑戦し続ける生徒

【アクション】
～前に踏み出す力～

【シンキング】
～考え抜く力～

【チームワーク】
～チームで働く力～

目指す生徒の姿と育む力は、令和6年度と変わらず、社会人基礎力に必要な<アクション><シンキング><チームワーク>とします。しかし、取組はアップデートしたものとし、さらに高みを目指し、よりよい力をつける事を目指し継承していきたい、と説明があり満場一致で承認されました。



【令和7年度 生徒会ビジョン】

【アクション】
生徒会活動の可視化

【シンキング】
自習室を活用した
学習意欲の向上

【チームワーク】
ふれあいルームやレクを通じ
た異学年交流の充実

生徒会三役からの言葉

- ◎生徒会活動をもっと知ってもらいたい。
- ◎生徒一人一人の個性を発揮できる一中にしたい。
- ◎異学年交流の場を増やし、学年を超えた絆をつくりたい。
- ◎50周年記念の年、全校生徒が参加できるメインイベントを開催し、成功させたい。
- ◎これまでのよい伝統をしっかり引き継ぎつつ、より過ごしやすい学校づくりに励みたい！！



委員からの意見・感想・要望

- ◆活動の可視化はどのように可視化するのか？
- ◆50周年イベントはどんなことを考えているか？
- ◆地域の人は一中生と一緒に様々な活動をしたと思っている。考えてもらえるとうれしい。
- ◆学習意欲の向上では1・2年生に向けての施策はあるか？
3年生が下級生に教えるのもよい異学年交流に繋がると思う。
- ◆リーダー研修の話があったがどんなことをするのか？
- ◆可視化がすべてにかかっている気がする。今、考えている事を全校に知ってもらい、元締めとしての役割を担ってほしい。
- ◆生徒会自ら様々な事を考える姿に感動した。素晴らしい。

生徒会三役からは、「可視化はポスターやタブレットを活用したい。」「地域活動は専門委員会などで話し、協力できることがあれば協力したい。」「具体的な活動はこれからですが話しを聞いてもらい、いろいろな角度から意見をもらい、自分たちが、これから何をすればよいのかイメージがわいてきました。」と自分たちの考えを自分の言葉でまとめ、発言でき、よい経験ができました。



『充実の令和6年！ 飛躍の令和7年へ！！』 ～熊谷校長より閉会の挨拶～

今年、学校運営協議会は3年目に入り、ホップ・ステップ・ジャンプのジャンプの年になると話しましたが本当に大きなジャンプの年になりました。生徒会本部が「ふれあいルームを作りたい」と提案し、たくさんの意見をもらいました。それが生徒をすごく成長させました。秋以降、行動が変わり、自信をもって、学校のため、みんなのために頑張る姿になりました。そしてそれを実現させました。地域、保護者の皆さんに関わってもらい、励ましてもらい、時には意見をきちんと伝えてもらい、子どもたちの成長にプラスになりました。次年度も力をお借りし、さらによい一中にしていきたいと思っております。